



東リ株式会社

証券コード:7971



明日の地球を思うこと

TOLI REPORT

株主・投資家のみなさまへ
第147期のご報告(2010年4月1日～2011年3月31日)

ひとつの空間について考えることは、 そこに集まる人や、自然環境について考えること。

快適で感性豊かな空間を提案するトータルインテリアメーカーとして、東リがお届けするのは、「365日のビューティフル」。
人を包みこむ空間・自然・社会を見据えた、大きな視野でインテリアを考えています。



東リコーポレートシンボル「365日のビューティフル」

やわらかな曲線でTの字を型どったフォルムは、無限の可能性に挑戦する東リの姿勢を。
美しく鮮やかなカラーは、毎日の生活を自由に描く豊かな感性を。
浮かび上がるTOLIの文字は、確かな技術力と国際性を表現しています。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、このたび第147期(2010年4月1日～2011年3月31日)を終了いたしましたので、当社グループの事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。

当社グループの経営の基本方針

当社グループは、経営理念として＜インテリア事業を通じて生活文化の向上に貢献する＞＜顧客中心主義を行動規範とする＞＜トータルインテリアのリーディングカンパニーを目指

す＞の3つを掲げ、事業活動を行っております。『すべてはお客様のために』を行動指針とし、住宅やオフィス、学校、医療・福祉施設、商業施設など、あらゆる住・生活空間に豊かさをご提供するものづくりやサービスに努めることで、企業価値の向上に取り組んでおります。

また、法令を遵守することはもちろん、地球環境保全にも配慮するなど社会に対する責任を果たすべく、良識ある健全な企業活動に徹し、世の中から信頼され期待される企業グループを目指しております。

当社グループの営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国の景気回復を背景とした輸出の持ち直しにより企業収益が改善傾向にありましたが、失業率が高水準にあるなど厳しい状況が

続きました。インテリア業界におきましては、建築着工量が増加に転じ、内装工事の需要が底打ちの兆しをみせたものの、依然として低い水準にあることから、経営環境は厳しいものとなりました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による電力供給不安や原材料不足などにより、産業界は混乱いたしました。

こうしたなか、当社グループは中期経営計画「変革と挑戦2011」に基づき、需要の創出や事業収益性の改善に努めた結果、当連結会計年度における売上高は79,614百万円(前期比2.1%減)、経常利益は867百万円(前期比20.8%減)、当期純利益は274百万円(前期比45.8%減)となりました。



Flooring



Curtain

Wall



明日の地球を思うこと

対処すべき課題

当社グループは、中期経営計画「変革と挑戦2011」の重点戦略目標達成に向けた取り組みを推進しております。当社グループは、業界を牽引するトータルインテリアメーカーとして、その社会的使命を認識し、お客様に快適なライフスタイルをご提案するため、きめ細かな商品展開や積極的な販売促進に尽力するとともに、東日本大震災での被災エリアの復旧、復興に貢献できる事業活動に努めてまいります。中期経営計画を着実に推進することを通じ、原油価格の変動に伴う主要原材料コストの上昇や競合激化など不透明な経営環境課題を乗り越え、当社グループがさらに強靱な事業基盤を確立し、成長を加速させることが重要な経営課題と考えております。

また、当社グループは、メーカーとして、「環

境保全」や「安全品質」に対する取り組みは最優先課題の一つであると認識しております。人と地球にやさしい企業でありたい、という思いを「東リエコスピリット」として表わし、低炭素化の推進をはじめとするさまざまな側面から、真剣に環境問題に取り組んでおります。限りある資源を有効に活用しながら、人と地球にやさしい商品の研究開発に努めて皆様にご提供していくことで、企業市民としての責任を果たし、「世の中から信頼され、期待される」企業グループであり続けるよう、努力してまいります。

当社グループは、会計をはじめとするあらゆる業務の適正を確保することも重要な経営課題と認識しております。

当社グループは、内部統制報告制度に対応した内部統制の評価管理体制を構築・運用しており、これをさらに推し進めることで、企業経営のより一層の効率化・明瞭化とガバナ

ンス体制の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

柏原 賢二



納入実績

エリア	物件名
北海道	北海道小樽高等支援学校
北海道	北海道情報大学EDCタワー
岩手県	岩手医科大学
宮城県	仙台第3法務総合庁舎
長野県	アリオ上田
新潟県	新潟大学学生寮(六花寮)
東京都	JA共済ビル
東京都	野村不動産天王洲ビル
石川県	金沢歌劇座
愛知県	ヒルズウォーク徳重
愛知県	名古屋大学(東山)総合研究棟(工学系) 素粒子宇宙起源研究機構
大阪府	MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店
兵庫県	神戸市立中央市民病院
広島県	福山市立大学
高知県	高知県県民文化ホール
福岡県	JR博多シティ
福岡県	福岡空港 西側国際線旅客ターミナルビル

納入物件



●THE EMPORIUM
川崎アゼリア店
(神奈川県)

・ロイヤルストーン



●NEO MART 河原町店
(京都府)

・グラノーブル、モクリン柃目



●新大阪グランドビル
(大阪府)

・フックカーペット特注品

プロダクト事業

「プロダクト事業」については、当社のほか、当社事業本部の統括の下に関係会社が塩ビ床材やカーペット等のインテリア製品の製造と、それに関連する内装材のメンテナンス及び製商品の在庫管理・配送等のサービス業務を行っております。

塩ビ床材では、優れた衝撃吸収性と抗菌性を備えた「SFフロア」や、独自の微発泡構造により耐動荷重性を高めた「ホスピリウム」など医療・福祉施設向けのビニル床シートが売上を伸ばしました。カーペットでは、2010年度グッドデザイン賞を受賞し

た「テキスタイルフロア」など意匠性の高いタイルカーペットが堅調に推移し、壁装材では、つや消しの上品な質感とリアルな表情が特長の木目調化粧仕上材「リアルデコ」の売上が増加しました。しかしながら、マンション開放廊下用防滑性ビニル床シートなどの売上が前年を下回り、プロダクト事業の売上高は49,074百万円（前期比3.1%減）、セグメント利益は590百万円（前期比44.1%減）となりました。

インテリア卸及び工事業業

「インテリア卸及び工事業業」については、販売事業を営む関係会社が、インテリア関連商材の仕入販売及び内装工事等を行っております。

販売子会社におけるブラインドやカーテンレール等のインテリア金物の売上が堅調に推移し、また、工事売上は昨年来の住宅

着工の回復もあり前年を上回りました。この結果、インテリア卸及び工事業業の売上高は53,662百万円（前期比2.5%減）、セグメント利益は286百万円（前期比116.1%増）となりました。

（注）当連結会計年度から、セグメント区分を変更いたしました。

企業集団の事業別売上高等

（単位：百万円）

区 分	売 上 高		対前期売上高増減	
	第146期 (2009年4月 1日～ 2010年3月31日)	第147期 (2010年4月 1日～ 2011年3月31日)	金 額	比 率 (%)
プロダクト事業	50,668	49,074	△1,594	△3.1
インテリア卸及び工事業業	55,041	53,662	△1,378	△2.5
調 整 額	△24,379	△23,122	1,256	—
合 計	81,330	79,614	△1,715	△2.1

（注1）《増減比率》は小数点第2位以下を四捨五入しております。

（注2）調整額はセグメント間の内部売上高又は振替高によるものです。

主 な 新 製 品 等

◆簡単リフォーム床材「LAYフローリング」

「LAYフローリング」は既設の床に重ねて貼れます。トップ層は凹みや傷に強く、表面は汚れに強く、ワックスがけのいらない特殊UV樹脂コーティングを施しており、優れた耐久性でロングライフを実現します。特に賃貸住宅における増し貼りリニューアル工事に最適です。また、これまで賃貸住宅経営者にとっては、入居者が入れ替わる際、いたんだ床材の全面貼り替えが必要でしたが、「LAYフローリング」は、一枚一枚の色調をばらつかせることで、天然材の風合いを表現しており、部分貼り替えの場合にもしっとり馴染むため、コスト面における負担の軽減にもつながります。



LAYフローリング LFT111

◆「バスナフローレ・バスナアルティ」

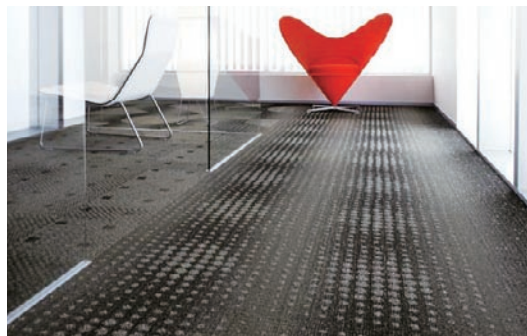
「バスナフローレ・バスナアルティ」は、安心・安全・清潔をキーワードに開発した浴室用床シートです。「バスナフローレ・バスナアルティ」には、4つの優れた特長があります。1.防滑性：表面の繊細な凹凸が足裏にフィットし、水に濡れても滑りにくい構造になっています。2.水はけ性：特殊加工により、シート表面に水玉がでにくく、表面の乾燥を早めます。3.接触温熱感：素足で触れてもヒヤッとしないので、冬場のヒートショックを軽減します。4.衝撃吸収性：クッション性のある発泡シートで転倒時の衝撃を和らげ、膝つきの姿勢での介護も楽に行えます。



バスナフローレ BNF1001

◆東リ グラフィックタイルカーペット GXシリーズ「コンティニュアス」

「コンティニュアス」は、国内初のタテヨコリピート柄のタイルカーペットです。50cm角のサイズで柄が途切れない連続柄により、流し貼り、市松貼りのどちらでも施工が可能となり、グラデーションやドット柄、サークル柄などとの組み合わせにより、これまでにないダイナミックで無限のフロア演出を実現できるようになりました。目地を感じさせない組み合わせのバリエーションは、オフィス、商業施設、宿泊施設など様々な場所での空間デザインにご活用いただけます。



コンティニュアス GX2910

主 な 新 製 品 等

◆「東リ ラグ&マット2010-2012」

アクセントラグは居住空間のイメージを引き立てる上で重要なインテリアエレメントの一つです。住宅の居室を主な用途としますが、グレード感を要求されるオフィスの応接室、店舗のほか、最近ではホテルのレストスペースにも採用されています。上質で心地よい素材による、心も華やぐフェミニンなアイテムから、ポップでカラフルなデザインまで、取り揃えた全378アイテムの中よりお客様のこだわりにお応えできる一品をお選びいただけます。



東リRUG TOR3007

◆東リカーテン

「PLUS BONHEUR (プラスボヌール) 2010-2013」
「Healing Modern」—日常という癒しの空間へ—

HealingとはHealth、つまり健康の元であり、「癒し」という意味を持ちます。少しリッチな気分になれる個性豊かで上質なファブリックス。「PLUS BONHEUR 2010-2013」では「デザイン」「カラー」「素材」「機能」などをテキスタイルに表現して、日常の生活での「癒しの空間」を提案しています。



プラスボヌール KTB2134

◆東リ木目調化粧仕上材「リアルデコ」

「リアルデコ」は2005年11月に発売いたしました木目調化粧仕上材（壁紙）です。樹脂系の粘着化粧シートと同等の意匠性を有しながらも、お求めやすい価格となっております。昨年、住宅着工量と共に需要が低減した壁装業界におきましても、堅調に実績を伸ばし、高級感のある演出を求められるオフィスやホテルをはじめ、多店舗展開型の商業施設および医療施設での採用が増加しています。トレンド性のある樹種を豊富に取り揃えたマットな質感、F☆☆☆☆、不燃認定、防汚性と表面強度に優れる「リアルデコ」は、空間設計の幅を広げ、様々なインテリアシーンを上質に演出します。



リアルデコ WRW1035

業績推移

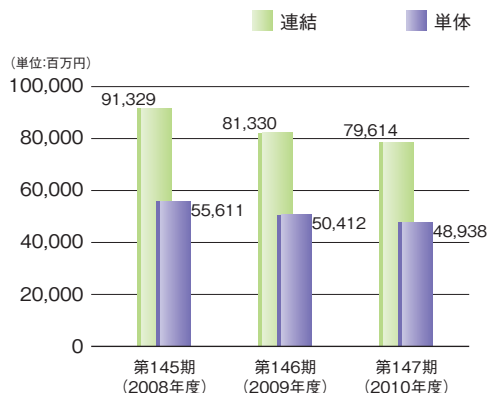
(単位:百万円)

連 結	第145期 (2008年度)	第146期 (2009年度)	第147期 (2010年度)
売上高	91,329	81,330	79,614
経常利益	682	1,094	867
当期純利益	366	506	274
1株当たり当期純利益 (円)	5.82	8.11	4.34
総資産	66,805	64,961	64,152
純資産	24,621	24,930	24,542
1株当たり純資産 (円)	391.05	390.52	390.51

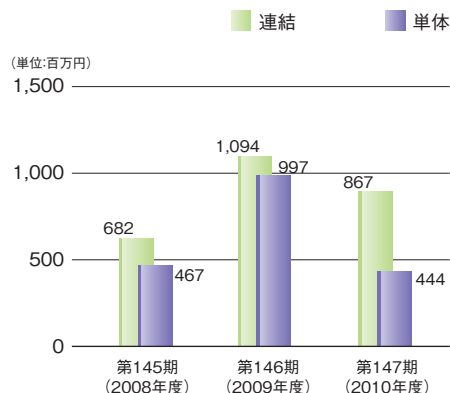
(単位:百万円)

単 体	第145期 (2008年度)	第146期 (2009年度)	第147期 (2010年度)
売上高	55,611	50,412	48,938
経常利益	467	997	444
当期純利益	117	457	130
1株当たり当期純利益 (円)	1.86	7.33	2.07
総資産	56,876	56,022	54,529
純資産	20,058	20,315	19,800
1株当たり純資産 (円)	321.82	321.41	318.21

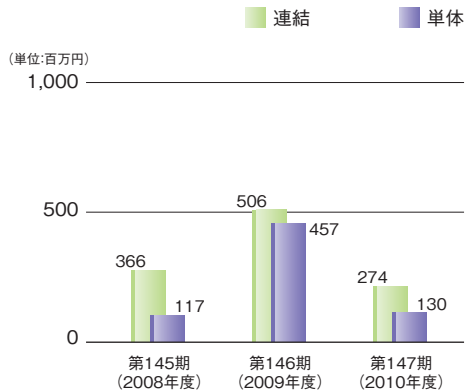
■ 売上高



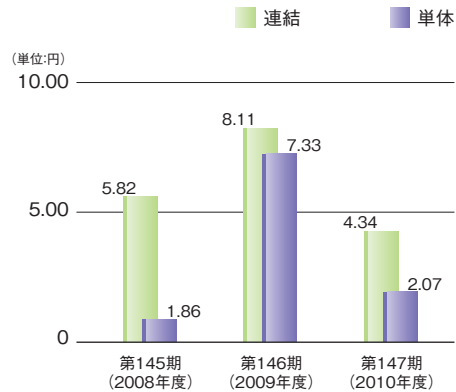
■ 経常利益



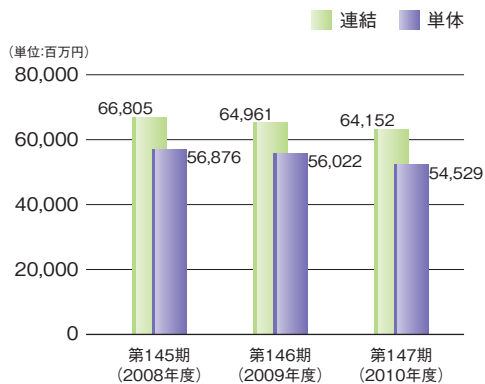
当期純利益



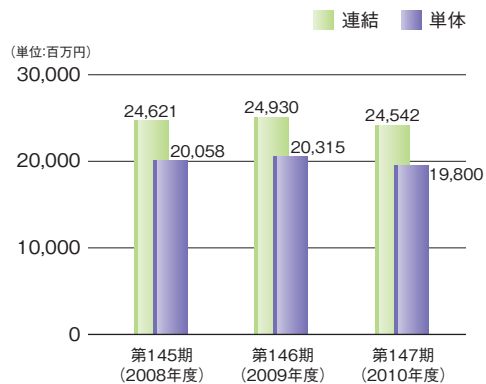
1株当たり当期純利益



総資産



純資産



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第146期 (2010年3月31日現在)	第147期 (2011年3月31日現在)	増 減
流動資産	39,320	39,759	439
現金及び預金	7,389	5,132	△ 2,257
受取手形及び売掛金	22,542	24,838	2,295
有価証券	714	714	0
たな卸資産	7,701	8,004	303
繰延税金資産	412	490	78
その他	814	861	47
貸倒引当金	△ 254	△ 283	△ 28
固定資産	25,641	24,393	△ 1,248
有形固定資産	17,504	16,506	△ 997
建物及び構築物	6,034	5,599	△ 434
機械装置及び運搬具	2,270	1,835	△ 435
土地	8,685	8,672	△ 12
その他	513	399	△ 114
無形固定資産	1,034	792	△ 241
投資その他の資産	7,102	7,093	△ 8
投資有価証券	3,177	3,332	155
長期貸付金	200	174	△ 25
繰延税金資産	1,894	1,824	△ 70
その他	2,244	2,092	△ 151
貸倒引当金	△ 414	△ 331	83
資 産 合 計	64,961	64,152	△ 808

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 34,771百万円 35,833百万円*
2. 受取手形割引高 29百万円 11百万円
※ 減損損失累計額含む

科 目	第146期 (2010年3月31日現在)	第147期 (2011年3月31日現在)	増 減
流動負債	26,061	27,252	1,191
支払手形及び買掛金	20,487	20,660	173
短期借入金	350	317	△ 32
1年内返済長期借入金	2,100	3,000	900
その他	3,123	3,274	150
固定負債	13,969	12,357	△ 1,612
長期借入金	7,500	5,800	△ 1,700
退職給付引当金	4,066	4,052	△ 14
その他	2,402	2,505	102
負 債 合 計	40,030	39,610	△ 420
株主資本	24,205	24,001	△ 204
資本金	6,855	6,855	—
資本剰余金	6,423	6,423	—
利益剰余金	11,780	11,738	△ 42
自己株式	△ 853	△ 1,015	△ 162
その他の包括利益累計額	478	298	△ 180
その他有価証券評価差額金	478	298	△ 180
少数株主持分	246	242	△ 4
純資産合計	24,930	24,542	△ 388
負債及び純資産合計	64,961	64,152	△ 808

POINT 1

当期末の総資産は、前期末に比べ808百万円減少し、64,152百万円となりました。流動資産は、前期末に比べ439百万円増加し、39,759百万円となりました。この主な要因は、売上債権やたな卸資産の増加等によるものです。固定資産は、前期末に比べ1,248百万円減少し、24,393百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の減少等によるものです。

POINT 3

当期末の純資産合計は24,542百万円となり、自己資本比率は、前期末の38.0%から37.9%となりました。

POINT 2

当期末の負債合計は、前期末に比べ420百万円減少し、39,610百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少等によるものです。流動負債は、前期末に比べ1,191百万円増加の27,252百万円、固定負債は、前期末に比べ1,612百万円減少の12,357百万円となりました。流動負債が増加した主な原因は、一年内返済長期借入金の増加等によるものです。また、固定負債が減少した主な要因は、長期借入金の返済予定が一年内になったこと等によるものです。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	第146期 (2009年4月 1日～ 2010年3月31日)	第147期 (2010年4月 1日～ 2011年3月31日)	増 減
売上高	81,330	79,614	△ 1,715
売上原価	58,412	57,761	△ 651
売上総利益	22,917	21,853	△ 1,064
販売費及び一般管理費	21,772	20,933	△ 839
営業利益	1,145	919	△ 225
営業外収益	405	332	△ 72
営業外費用	455	384	△ 70
経常利益	1,094	867	△ 227
特別利益	41	52	11
特別損失	144	265	120
税金等調整前当期純利益	991	655	△ 336
法人税、住民税及び事業税	89	263	174
法人税等調整額	394	114	△ 279
少数株主損益調整前当期純利益	—	276	—
少数株主利益	1	2	1
当期純利益	506	274	△ 231

注) 1株当たり当期純利益

8円11銭

4円34銭

POINT 4

当期の売上高は、建築着工量が増加に転じ内装工事の需要が底打ちの兆しをみせたものの、依然として低い水準にあり前期に比べ2.1%減の79,614百万円となりました。損益面では、経常利益は前期に比べ20.8%減の867百万円、当期純利益は、前期に比べ、45.8%減の274百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	第146期 (2009年4月 1日～ 2010年3月31日)	第147期 (2010年4月 1日～ 2011年3月31日)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,556	454	△ 4,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,821	△ 872	948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 848	△ 1,838	△ 989
現金及び現金同等物の増加額	1,886	△ 2,256	△ 4,143
現金及び現金同等物の期首残高	6,155	8,041	1,886
現金及び現金同等物の期末残高	8,041	5,784	△ 2,256

POINT 5

当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ2,256百万円減少し、5,784百万円(前期末8,041百万円)となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

商品販売やサービス提供など本来の事業によって、どれだけの資金を獲得したかを表しています。営業活動による資金収支は、454百万円(前期4,556百万円)となりました。売上債権やたな卸資産の増加等により、前期に比べ減少しております。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来の利益獲得、資金運用のためにどれだけの資金を支出し、または回収したかを表しています。投資活動による資金収支は、△872百万円(前期△1,821百万円)となりました。有形固定資産の取得による支出や無形固定資産の取得による支出の減少等により、前期に比べ支出が減少しております。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動と投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを表しています。財務活動による資金収支は、△1,838百万円(前期△848百万円)となりました。長期借入金の返済による支出の増加等により、前期に比べ支出が増加しております。

連結株主資本等変動計算書 (2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	その他包括利益 累計額合計		
前期末残高	6,855	6,423	11,780	△ 853	24,205	478	478	246	24,930
当期変動額									
剰余金の配当			△ 316		△ 316				△ 316
当期純利益			274		274				274
自己株式の取得				△ 162	△ 162				△ 162
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 180	△ 180	△ 4	△ 184
当期変動額合計	—	—	△ 42	△ 162	△ 204	△ 180	△ 180	△ 4	△ 388
当期末残高	6,855	6,423	11,738	△ 1,015	24,001	298	298	242	24,542

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第146期 (2010年3月31日現在)	第147期 (2011年3月31日現在)	増 減
流動資産	35,241	34,796	△ 445
固定資産	20,780	19,733	△ 1,047
有形固定資産	12,720	11,945	△ 774
無形固定資産	884	665	△ 218
投資その他の資産	7,175	7,121	△ 53
資産合計	56,022	54,529	△ 1,492
流動負債	22,988	23,762	774
固定負債	12,717	10,966	△ 1,751
負債合計	35,706	34,728	△ 977
株主資本	19,864	19,517	△ 347
資本金	6,855	6,855	—
資本剰余金	6,423	6,423	—
利益剰余金	7,439	7,254	△ 185
自己株式	△ 853	△ 1,015	△ 162
評価・換算差額等	450	283	△ 167
純資産合計	20,315	19,800	△ 515
負債及び純資産合計	56,022	54,529	△ 1,492

注) 有形固定資産の減価償却累計額 25,178百万円 25,951百万円*
 ※減損損失累計額含む

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第146期 (2009年4月 1日～ 2010年3月31日)	第147期 (2010年4月 1日～ 2011年3月31日)	増 減
売上高	50,412	48,938	△ 1,473
売上原価	34,334	33,968	△ 366
売上総利益	16,077	14,970	△ 1,107
販売費及び一般管理費	15,123	14,566	△ 557
営業利益	953	404	△ 549
営業外収益	453	422	△ 31
営業外費用	409	381	△ 27
経常利益	997	444	△ 553
特別利益	38	75	37
特別損失	204	180	△ 24
税引前当期純利益	831	340	△ 491
法人税、住民税及び事業税	42	42	△ 0
法人税等調整額	331	167	△ 164
当期純利益	457	130	△ 326

注) 1株当たり当期純利益 7円33銭 2円07銭

株主資本等変動計算書 (2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本準備金	資本剰余金 その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益剰余金 その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	6,855	1,789	4,633	6,423	5,000	2,439	7,439	△ 853	19,864	450	20,315
当期変動額											
剰余金の配当						△ 316	△ 316		△ 316		△ 316
当期純利益						130	130		130		130
自己株式の取得								△ 162	△ 162		△ 162
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										△ 167	△ 167
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△ 185	△ 185	△ 162	△ 347	△ 167	△ 515
当期末残高	6,855	1,789	4,633	6,423	5,000	2,254	7,254	△ 1,015	19,517	283	19,800

インテリアトレンドショー JAPANTEX 2011

JAPANTEX 2011 開催概要

名 称……インテリアトレンドショー 第30回 JAPANTEX 2011
 会 期……平成23年11月9日(水)～11日(金) 10:00～18:00 最終日は17:00まで
 主 催……社団法人日本インテリアファブリックス協会
 会 場……東京ビッグサイト
 西展示場1・2ホール(東京国際展示場)
 テーマ …… Good day, Good style
 ～ インテリアで できること ～



(注)上の写真は昨年の「東リブース」です。

■当社の概要

(2011年3月31日現在)

創立 1919年(大正8年)12月1日
資本金 6,855百万円
従業員数 721名
主な事業内容 ・プロダクト事業……塩ビタイル、塩ビシート、
カーペット、カーテン、壁装材、接着剤等の製造・販売
・インテリア卸及び工事業……インテリア関連商材
の仕入販売、内装工事

■本社および事業所

(2011年3月31日現在)

本社 兵庫県伊丹市東有岡5-125
東京本部 東京都港区東新橋2-10-4
工場 伊丹、厚木
ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪
営業所所在地 札幌、盛岡、仙台、さいたま、水戸、千葉、東京、八王子、
横浜、長野、新潟、名古屋、石川、静岡、京都、大阪、
神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島

■役員

(2011年6月24日現在)

〈取締役・監査役〉 代表取締役社長 柏原 賢二
常務取締役 吉森 忠重^{*1}
取締役 大谷 正男^{*1}
取締役 永嶋 元博^{*1}
取締役 鈴木 潤^{*1}
取締役 松本 渉^{*1}
常勤監査役 尾田 正孝
常勤監査役 浪花 芳法
監査役 堀村 不器雄^{*2}
監査役 春名 一典^{*2}

(注) ^{*1}印を付した5氏は、取締役と執行役員の
兼務者であります。
^{*2}印を付した両氏は、社外監査役であり
ます。

〈執行役員〉 執行役員 武田 松利
執行役員 小谷 良道
執行役員 安嶋 二郎
執行役員 江辺 晴信
執行役員 富田 芳朗

●株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人及び 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
(お問い合わせ先) 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましても、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】 ●株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社
のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。

・電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)

・ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/>

公告の方法 電子公告の方法により、下記の東リホームページに掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

ホームページアドレス

<http://www.toli.co.jp>

※本誌に関する注意事項

本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

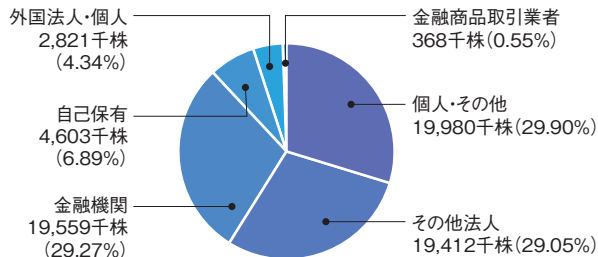
■ 株式数および株主数

(2011年3月31日現在)

- ・発行可能株式総数 141,603千株
- ・発行済株式総数 66,829千株
- ・株主数 6,266名
- ・1人当たりの平均持株数 10,665株

■ 株式分布状況

(2011年3月31日現在)



■ 大株主

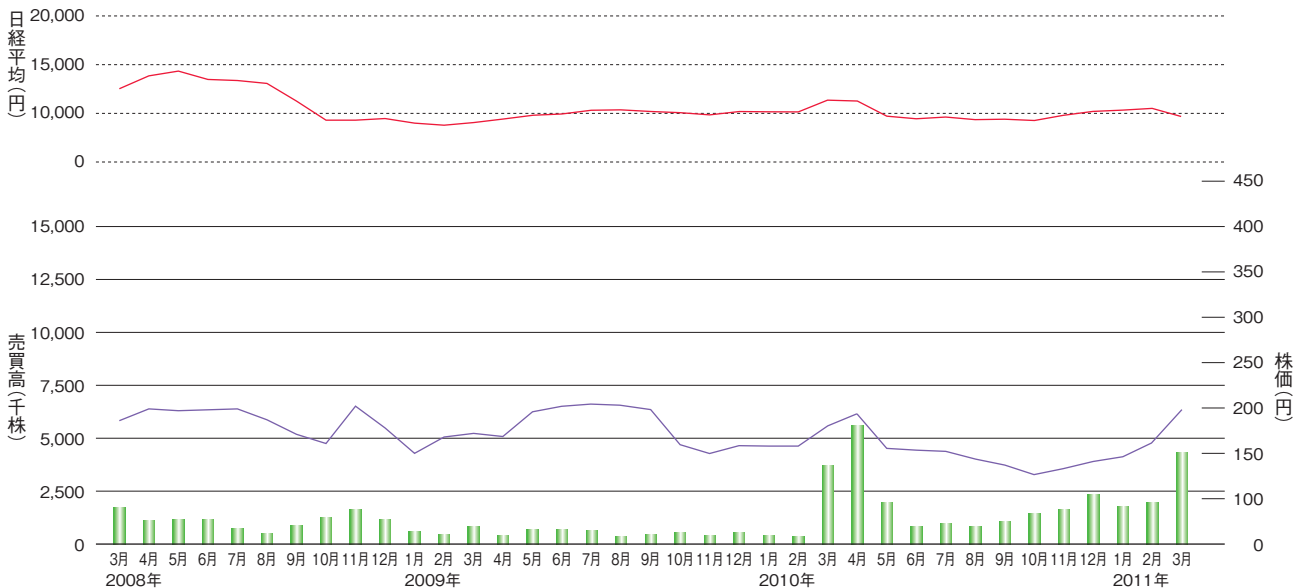
(2011年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	4,551	7.3
株式会社トクヤマ	2,780	4.4
双日株式会社	2,532	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,797	2.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,777	2.8
三信株式会社	1,730	2.7
帝人テクノプロダクツ株式会社	1,489	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.3
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,410	2.2
東親会持株会	1,375	2.2

*当社の自己保有株式は、上表より除いております。
 *持株比率は、自己株式(4,603千株)を控除して計算しております。
 また、小数点第2位以下を切り捨てております。

■ 株価と売買高の推移 (東京証券取引所)

■ 売買高(千株) ■ 株価(円) ■ 日経平均(円)





TOLI ECO SPIRIT
東リ エコスピリット

東リ株式会社

<http://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。